

# 平成 26 年度 第 4 回 COC 実施本部会議 議事録

平成 26 年 12 月 3 日 (水)

16 : 20 ~ 17 : 00

場所 : 本部大会議室

出席者 : 清水学長、齋藤教育開発センター長、岡野研究開発推進センター長、西谷事務局長、水本学生支援部長、木村企画部長、橋本地域連携推進室担当課長

\* 欠席者 : 田浦学生部長・山村教務担当課長

## 【議題】

### 1. 本年度事業計画と今後の計画について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長から説明があった。

#### 「伊勢志摩定住自立圏共生学」科目Ⅰ・Ⅱについて

これまでに運営会議を 6 回開催し、科目Ⅰ・Ⅱ（2 年次配当）について連携市町と協議しながら科目内容検討を進めており、今後も科目内容の組み立て等について協議を進めていく予定である。

（現在の課題）

- ・科目Ⅰ・Ⅱにおいては、自治体首長・職員等による授業を予定している講義回と自治体からの資料提供のみで本学教員が授業担当する講義回（度会町・大紀町）がある。このうち本学教員が授業担当する講義回については当該 2 町と本学教員との間で授業内容について個別に協議を進める必要がある。
- ・圏域内視察については当初考えていた視察形態（運営会議メンバー全員が揃って）から本学教員＋事務サイドで分担もしくは揃って、各市町視察先を個別に 1 日ずつ視察するという形態へ変更して行う予定である。

#### 「伊勢志摩定住自立圏共生学」科目Ⅲ・Ⅳについて

次回（12/4）運営会議で三重銀総研 別府氏にお越しいただいて科目内容等についてご説明いただき、協議予定するである。

< 質疑応答 >

（問）圏域内視察は具体的な課題があって、その視点で視察を行うということか？

（答）主に歴史文化観光資源、自然環境定住資源を活用しながら教育プログラムを組み立てるということなので、それら資源が現在、具体的にどのような状況にあるのか視察することとしている。

以下、追加の配布資料「圏域内視察コース（案）」に基づき、市町ごとの視察内容について説明。

審議の結果、異議なく了解された。

### 2. 第 2 回自己点検・評価委員会及び外部評価委員会（3 月）開催について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長から説明があった。

- ・第 1 回自己点検・評価委員会及び外部評価委員会については既に開催済みである（11/15）。
- ・第 2 回自己点検・評価委員会及び外部評価委員会については平成 27 年 3 月 16 日（月）に平成 26 年度の事業について事業の進捗状況について評価を受けることを目的に開催するものである。

<質疑応答>

(問) COC 実施本部会議メンバーは自己点検・評価及び外部評価委員会に出席することになるか？

(答) 自己点検・評価及び外部評価委員会には「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議メンバーおよび COC 実施本部長の清水学長に委員長としてご出席いただく定めとなっている（「地（知）の拠点整備事業自己点検・評価、外部評価体制」参照）。

審議の結果、異議なく了解された。

### 3. その他

齋藤教育開発センター長から特命教員人事進捗状況等について説明があった。

- ・延長募集（12月1日締切）を行っていたが、コーディネート担当（フルタイム 特命教授又は准教授）1名、CLL担当（週2日 特命准教授又は助教）1名応募があった。現在、清水学長に履歴書をご覧になっていただいている状況である。
- ・6次産業化担当教員については、当初見込んでいた方を含め3名検討。現在、改めて即戦力となる人材を求めている状況で、もう一度期間延長することとなりそうなのでご了承を願いたい。
- ・特命教員の選考にあたっては、皇學館大学特命教員規程〔第5条（任用）〕に従い、教育開発センター運営会議で候補者を決議後、学長より理事長に推薦いただく手続きであることが確認された。

審議の結果、異議なく了解された。

## 【報告事項】

### 1. 第1回自己点検・評価委員会及び外部評価委員会（11月）開催報告について

清水学長の求めに応じ、齋藤教育開発センター長から説明があった。

- ・第1回自己点検・評価委員会及び外部評価委員会は11月15日に開催され、現在議事録を作成中である。議事録（案）としてまとめ次第、実施本部会議メンバーに確認いただく予定である。
- ・外部評価委員からの主だったご意見、ご質問として

#### ① 文科系大学が6次産業化にどのように取り組むのか？

(回答) 製品に物語性を付加してゆく。歴史、文学を学んでいるからこそ、そこに新たな視点を加えることが出来、自分の専門の学びと今回のCOCで取り組む地域の課題とをこのような形で結びつけていくことが出来るのは文科系だからこそだと申し上げた。

#### ② 「指標」設定について

(回答) 現在設定しているのは完成年度の指標であるが、各年度ごとに指標を設けてはどうかと言うご意見をいただいた。しかしながら、単年度ごとの指標を設けるのは難しいのではないかと考えている。

#### ③ 県の南勢地域活性化局との連携について

(回答) 県との連携を検討されてはどうかと言うご意見をいただいたが、県は定住自立圏共生ビジョンの取組みに直接関わっておられるわけではないので、中心的な取りまとめ役としての位置づけはしないでおきたいと考えている。

- ・本事業の取組みに対し、概ね「よい取組みである」と言う肯定的なご意見を寄せていただいた。

<質疑応答>

(問)「指標」とは？

(答)例えば「地域課題を扱う学生が何人いるか？」というようなことを指標としている。

地域志向研究の取り組み件数平成26年度22件であるところを、平成30年度には40件という数値目標を設定している。

審議の結果、異議なく了解された。

## **2. その他**

特記事項なし

### **\* 次回日程**

平成27年1月7日(水) 教学運営会議終了後～ 記念講堂本部大会議室 で開催されることが確認された。

以上